

14時30分解禁

平成23年5月 全国百貨店売上高概況

平成23年6月17日

I. 概況

1. 売上高総額	4,820億円余
2. 前年同月比	-2.4% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 255店 (平成23年4月対比+1店)
4. 総店舗面積	6,377,044㎡ (前年同月比:-2.4%)
5. 総従業員数	90,157人 (前年同月比:-5.7%)
6. 3か月移動平均値	10-12月 -0.6%、11-1月 -1.1%、12-2月 -0.8%、 1-3月 -5.4%、2-4月 -5.8%、3-5月 -6.5%

[参考] 平成22年5月の売上高増減率は-2.1% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

3か月連続の前年同月比マイナスとなった。

5月は、基調的には、震災による自粛ムードが薄れ消費マインドの回復傾向も見られたが、一部高額消費に対する慎重姿勢が残っているほか、異例に早い梅雨入りや月末の台風接近など天候不順が続く集客に影響したこと、さらには土曜日が前年に比べ1日少なかったことから、4月と同様に前年実績を若干下回る結果となった。

具体的な動向としては、震災後の復興消費の拡大(被災した生活材の買い替え需要など)で東北地区が大幅な伸び(6.2%)を示したこと、大規模増床や新規出店のあった大阪と福岡では百貨店への注目度が上がり活況(店舗調整前伸び率:大阪7.7%、福岡11.6%)を呈したこと、節電意識の高まりからクールビズなど夏の暑さ対策商材が前倒しで好調に推移したこと、家族の絆を重視する気運が背景となり母の日商戦が例年以上に盛り上がったことなどプラス要素がある一方、マイナス要素としては、気温低下で主力の婦人衣料が苦戦したことや旅行関連需要(旅行用品、土産品購入等)が低調であったこと、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
 - ◇ 低気圧や前線および台風などの影響により、全国的に降水量が多く、日照時間は少なかった。また、太平洋高気圧の強まりにより、前線が停滞し湿った空気の影響を受けることが多くなり、平年よりかなり早く梅雨入りした。
- (2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比+0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 12日(" -1日/土曜1日減)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 37店、②変化なし: 22店、③減少した: 72店、④不明: 43店
- (5) 5月歳時記(GW、子供の日、母の日)の売上(同上)
 - ①増加した: 34店、②変化なし: 50店、③減少した: 34店、④不明: 56店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 19店、②変化なし: 74店、③減少する: 31店、④不明: 50店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2011年05月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	482,072,247	100.0	-2.4 (-1.9)
10都市	313,387,103	65.0	-2.7 (-0.9)
札幌	11,781,067	2.4	-2.0
仙台	6,800,353	1.4	6.7
東京	116,601,468	24.2	-4.3 (-4.6)
横浜	28,108,829	5.8	0.2 (-0.6)
名古屋	27,559,544	5.7	-2.1 (-6.0)
京都	18,790,953	3.9	-3.4 (-4.9)
大阪	64,204,426	13.3	0.6 (7.7)
神戸	13,086,205	2.7	-4.4
広島	11,063,458	2.3	-2.1
福岡	15,390,800	3.2	-12.1 (11.6)
10都市以外の地区	168,685,144	35.0	-1.8 (-3.5)
北海道	2,711,991	0.6	-2.0
東北	8,539,136	1.8	6.2 (-10.0)
関東	81,525,428	16.9	-2.5 (-4.0)
中部	13,433,389	2.8	-2.6
近畿	16,117,833	3.3	0.9
中国	11,754,271	2.4	-4.0
四国	8,813,160	1.8	-0.2
九州	25,789,936	5.3	-2.8 (-4.0)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	482,072,247	100.0	-2.4 (-1.9)
紳士服・洋品	36,410,844	7.6	-0.8 (0.8)
婦人服・洋品	110,738,224	23.0	-4.0 (-4.1)
子供服・洋品	13,856,199	2.9	-1.7 (-0.8)
その他衣料品	12,159,178	2.5	-6.3 (-7.2)
衣 料 品	173,164,445	35.9	-3.3 (-3.1)
身のまわり品	64,147,967	13.3	-0.8 (0.3)
化粧品	26,648,192	5.5	-4.8 (-4.5)
美術・宝飾・貴金属	21,390,115	4.4	-4.9 (-4.6)
その他雑貨	19,262,332	4.0	-2.9 (-2.6)
雑 貨	67,300,639	14.0	-4.3 (-4.0)
家 具	6,331,376	1.3	-5.8 (-5.4)
家 電	1,542,623	0.3	5.1 (4.8)
その他家庭用品	17,345,510	3.6	-3.0 (-3.1)
家 庭 用 品	25,219,509	5.2	-3.3 (-3.3)
生 鮮 食 品	27,574,963	5.7	-1.2 (-1.1)
菓 子	30,917,732	6.4	-0.7 (1.5)
惣 菜	27,676,857	5.7	1.0 (1.9)
その他食料品	35,079,020	7.3	1.3 (1.0)
食 料 品	121,248,572	25.2	0.2 (0.9)
食 堂 喫 茶	14,471,843	3.0	-2.4 (0.4)
サ ー ビ ス	5,776,681	1.2	-5.8 (-7.2)
そ の 他	10,742,591	2.2	-6.9 (-7.5)
商 品 券	16,474,875	3.4	-6.7 (-6.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -2.7% (店舗数調整後／3か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.8% (// ／3か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-2.7	-1.7	3か月連続マイナス
札幌	-2.0	0.0	2か月ぶりマイナス
仙台	6.7	0.1	3か月ぶりプラス
東京	-4.3	-1.1	3か月連続マイナス
横浜	0.2	0.0	2か月連続プラス
名古屋	-2.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
京都	-3.4	-0.1	3か月連続マイナス
大阪	0.6	0.1	2か月連続プラス
神戸	-4.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
広島	-2.1	0.0	39か月連続マイナス
福岡	-12.1	-0.3	34か月連続マイナス
10都市以外の地区	-1.8	-0.6	3か月連続マイナス
北海道	-2.0	0.0	7か月連続マイナス*
東北	6.2	0.1	2か月連続プラス*
関東	-2.5	-0.4	3か月連続マイナス
中部	-2.6	-0.1	3か月連続マイナス
近畿	0.9	0.0	2か月連続プラス
中国	-4.0	-0.1	3か月連続マイナス*
四国	-0.2	0.0	47か月連続マイナス
九州	-2.8	-0.2	45か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、食料品が3か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。また、家電、その他食料品が3か月ぶり、惣菜が7か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.4	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-0.8	-0.1	7か月連続マイナス
婦人服・洋品	-4.0	-0.9	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.7	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-6.3	-0.2	39か月連続マイナス
衣料品	-3.3	-1.2	3か月連続マイナス
身のまわり品	-0.8	-0.1	3か月連続マイナス
化粧品	-4.8	-0.3	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-4.9	-0.2	51か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.9	-0.1	42か月連続マイナス*
雑貨	-4.3	-0.6	39か月連続マイナス
家具	-5.8	-0.1	42か月連続マイナス
家電	5.1	0.0	3か月ぶりプラス
その他家庭用品	-3.0	-0.1	3か月連続マイナス
家庭用品	-3.3	-0.2	3か月連続マイナス
生鮮食品	-1.2	-0.1	7か月連続マイナス*
菓子	-0.7	0.0	2か月ぶりマイナス*
惣菜	1.0	0.1	7か月ぶりプラス*
その他食料品	1.3	0.1	3か月ぶりプラス*
食料品	0.2	0.0	3か月ぶりプラス
食堂喫茶	-2.4	-0.1	7か月連続マイナス
サービス	-5.8	-0.1	6か月連続マイナス
その他	-6.9	-0.2	2か月連続マイナス
商品券	-6.7	-0.2	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成23年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年6月17日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,166億円余
2. 前年同月比	-4.3% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-3.4%(88.7%) : 非店頭-10.8%(11.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	919,001㎡ (前年同月比:-1.6%)
6. 総従業員数	19,406人 (前年同月比:-7.6%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 0.8%、11-1月 0.4%、12-2月 0.8%、 1-3月 -6.6%、2-4月 -9.2%、3-5月 -10.7%

[参考] 平成22年5月の売上高増減率は-1.8% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

- (1) 都内各店の5月の入店客数は概ね前年比5~6%の減少となった。この背景には、天候不順や土曜日1日減少等のほか、首都圏居住者の間で遠出を控える傾向が続いていることも要因としてある。一方、郊外店は都内旗艦店の不振を補う形で好調に推移した。
- (2) 東京地区では高額品の売上シェアが他地区に比べ大きい、未だ震災前の水準にまでは戻っていない。具体的には、宝飾品、高級時計、特選輸入衣料などが低調であった。
- (3) 夏の節電を意識した「暑さ対策商材」は都内でも活況であった。具体的には、半袖ワイシャツや高機能肌着等のクールビズアイテムのほか、保冷剤付ストール、遮熱傘、扇子等の服飾雑貨、遮熱カーテンや高機能扇風機等の家庭用品まで幅広く動きが見られた。
- (4) 「家族の絆」に関連した動向では、母の日商戦が各店で二桁増を記録したほか、ブライダルリングの大幅な伸び、肉食志向を受けた食器や調理器具の好調さ等が注目される。
- (5) 6月中間段階までの売上動向は都内各店で回復傾向を強めており、中元の早期受注が好調にスタートするなど、前年水準に戻す勢いで推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 4店、②変化なし: 2店、③減少した: 14店、④不明: 1店
- (3) 5月歳時記(GW、子供の日、母の日)の売上 (同上)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 8店、③減少した: 8店、④不明: 2店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 5店、②変化なし: 9店、③減少する: 6店、④不明: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年05月

※店舗数調整後（ ）が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	116,601,468	100.0	-4.3 (-4.6)
紳士服・洋品	10,609,954	9.1	-1.5 (-1.6)
婦人服・洋品	24,039,603	20.6	-6.9 (-8.2)
子供服・洋品	2,666,978	2.3	-2.0
その他衣料品	2,152,596	1.8	-15.0
衣 料 品	39,469,131	33.8	-5.7 (-6.5)
身のまわり品	16,586,824	14.2	-1.4 (-2.7)
化粧品	6,324,837	5.4	-6.5 (-8.6)
美術・宝飾・貴金属	5,991,849	5.1	-6.7
その他雑貨	5,952,742	5.1	-4.6 (-4.8)
雑 貨	18,269,428	15.7	-6.0 (-6.8)
家 具	1,846,999	1.6	-12.7 (-12.9)
家 電	639,874	0.5	5.0
その他家庭用品	4,421,542	3.8	-10.5 (-10.5)
家 庭 用 品	6,908,415	5.9	-9.9 (-10.0)
生 鮮 食 品	4,606,995	4.0	1.6 (4.8)
菓 子	7,052,741	6.0	-1.8 (-0.7)
惣 菜	5,981,205	5.1	0.2 (2.0)
その他食料品	8,138,334	7.0	-3.1 (-2.2)
食 料 品	25,779,275	22.1	-1.2 (0.4)
食 堂 喫 茶	3,033,130	2.6	-0.6 (-1.1)
サ ー ビ ス	2,555,843	2.2	5.4 (1.7)
そ の 他	3,999,422	3.4	-10.2 (-10.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	5,437,931 千円	-10.7 (-10.9)
従 業 員 数	19,406 人	-7.6
店 舗 面 積	919,001 m ²	-1.6

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、3か月連続で全品目がマイナスとなった。また、生鮮食品が2か月連続のプラス、家電が2か月ぶり、惣菜が7か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-4.3	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.5	-0.1	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.9	-1.5	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.0	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-15.0	-0.3	37か月連続マイナス
衣料品	-5.7	-2.0	3か月連続マイナス
身のまわり品	-1.4	-0.2	3か月連続マイナス
化粧品	-6.5	-0.4	3か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-6.7	-0.4	3か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.6	-0.2	36か月連続マイナス*
雑貨	-6.0	-1.0	3か月連続マイナス
家具	-12.7	-0.2	2か月連続マイナス
家電	5.0	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-10.5	-0.4	3か月連続マイナス
家庭用品	-9.9	-0.6	3か月連続マイナス
生鮮食品	1.6	0.1	2か月連続プラス*
菓子	-1.8	-0.1	3か月連続マイナス*
惣菜	0.2	0.0	7か月ぶりプラス*
その他食料品	-3.1	-0.2	4か月連続マイナス*
食料品	-1.2	-0.3	4か月連続マイナス
食堂喫茶	-0.6	0.0	7か月連続マイナス
サービス	5.4	0.1	14か月連続プラス
その他	-10.2	-0.4	2か月連続マイナス
商品券	-10.7	-0.5	22か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>